



BMW 135i & 335iに +30psのエキストラを

エンジン構成パーツやECUプログラムに手を加えることなく、
お手軽なチューニングでパフォーマンスアップを図りたい。
そんなBMWユーザーの声に応えるアイテムが3Dデザインから発売された。

レポート | 編集部
フォト | 水野孔男 | Y.Mizuno
■問い合わせ先=3D DESIGN
☎03-6909-6612
http://www.3ddesign.jp

本体裏側のスイッチで ブースト圧を調整可能

本体裏側にはブースト圧レベルを調整できるボリュームスイッチが配置されており、0~100%の間で無段階調整することが可能。調整時には、本体裏側にビス止めされているカバーを外し、専用のピックで調整する。



3D DESIGN BOOSTER CHIP Ver.2 ✓

今回ご紹介する3DデザインのブースターチップVer.2は、BMW 335iや135iの秘めたるポテンシャルを引き出すチューニングアイテムだ。335i/135iにはツインターパーボを採用する3直6エンジン、N54 B30 Aが搭載されている。BMWのエンジンの中でも非常に高い評価を得ているユニットだが、本アイテムを装着すればさらなるパワー&トルクを手にすることが可能。

このブースターチップVer.2は、同社が以前より展開しているブースターチップの進化版で、今回新たにブースト圧調整機能を搭載しているのが特徴だ。また、最大ブースト圧も見直しを受けており、調整機能がなく一定量のパフォーマンスアップのみ可能となった従来モデルに比べ、10%強の

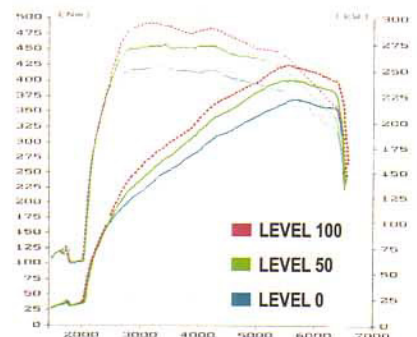
出力向上を実現している。使用方法は至ってシンプルだ。ブースターチップ本体の裏側にはブースト圧を調整可能なボリュームスイッチを配しており、車両のチューニング状況やコンディションにあわせて0~100%の間で調整することができる。ノーマル状態の車両に本アイテムを装着した場合、コントローラーのレベルを100%に設定すると、ノーマル比で最高出力+33・4ps、最大トルク+7・1kg・mと、大幅なパフォーマンスアップを実現する。なおレベル85%程度が従来のブースターチップと同等のスペックとなり、それ以上の高レベルに設定した場合には、取付けパーツの組み合わせや車両状況によってエンジン警告ランプが出されることがある。そのような場合には、ブースト圧レベルの調整が必要となる。



ブースターチップVer.2には、本体/ボリュームスイッチ調整用ピック/説明書/オリジナルステッカーが同梱される。対応車種は135iと335iのほか、Z4 sDrive35i用もラインナップ。価格は134,400円(工賃別)となる。

ブースト圧レベルを 調整できるヨロコビ

ブースト圧を引き上げ パワー&トルクを向上



エンジンにダメージを与えない安全範囲で、ターボのブースト圧をノーマル比で0.2kg/cm引き上げている。これにより、最高出力を20~30ps、最大トルクを7~8kg・m向上させることができる。同社が行なったシャシーダイナモテストでは、最高出力+33.4ps、最大トルク+7.1kg・mをマークしたという(テスト車は335iの09年モデル)。

取付け方法はいたってシンプル

エンジンに向かって右奥側にあるTMAPセンサーのハーネスコネクタの間に割り込ませるだけで取付け完了。取付けはプロスタッフに任せるのがベター。純正状態に戻すには、本アイテムを外して元の接続に戻すのみ。

